

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	36	1	基本事務事業名	基本計画に基づく事業	事務事業名	基本計画に基づく事業	公的関与	3	シート作成日			
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	吉岡 宏		シート作成者名	岩島 一矢		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 28 年 ~		令和 12 年 <input type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(1)水道の運営基盤の強化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水道法	
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市民(上水道加入者)									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	配水区域を再編するとともに、施設規模の適正化及び管路施設の耐震化等を実施することにより、効率的かつ災害に強い水道事業運営体制を構築します。									
			今年度	基本計画に基づく事業を継続して行います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 測量設計												
	② 工事発注・監理監督												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
	土成連絡送水管関連工事		施工済延長/計画区間延長 6,050m		%	目標	100	100	-	100			
						実績	100	100					
	小倉高区配水池築造工事		配水池3,000m ³ 、緊急遮断弁2基、配管工事、造成工事等		%	目標	-	15	65	100			
						実績	-	15					
	阿讃山麓線配水管関連工事		施工済延長/計画区間延長 9,837m		%	目標	25	35	45	100			
					実績	25	35						
DO	予算費目	会 計		水道事業会計				款		項		目	
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考				
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		141,200 千円		157,900 千円		194,800 千円					
		その他特定財源		112,950 千円		157,900 千円		194,800 千円					
		一般財源		61,029 千円		19,960 千円		250 千円					
		計(A)		315,179 千円		335,760 千円		389,850 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		2.500 人	15,294 千円	2.500 人	15,222 千円	2.500 人	15,106 千円				
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		330,473 千円		350,982 千円		404,956 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	給水区域の再編、施設の効率化等を図り、市民生活に必要な不可欠な水道の安定供給を維持するために必要な事業であります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	給水区域の見直し、配水ブロック間の相互融通体制の強化、施設規模の適正化、簡素化を行うことで、緊急時、災害時における水道の安定供給、施設運営の効率化が可能となるため、高い有効性を有します。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	設定目標に対し、計画的に事業を推進出来ています。関係機関との協議等により、翌年度へ事業が繰越となる場合があります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	建設課等関係部署における整備計画等に合わせて事業を実施することで、コスト削減や施工期間の短縮が可能となり、事業全体の効率性の向上に繋がります。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	流通の混乱に伴う納期の長期化や資材価格等の高騰による事業費の増大が懸念されています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	建設課等関係部署の事業との調整を行いながら、事業の早期の完了、効率の良い事業推進に努めます。資材や工法等の最適化を図り、コスト削減に繋がります。					建設課等関連部署と事業計画について十分協議を行いながら、基本計画に基づく施設整備や給水拠点までの管路整備など、早期に事業を完了できるよう推進していきます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	36	—	2	基本事務事業名	老朽管布設替等事業	事務事業名	老朽管布設替等事業	公的関与	3	シート作成日		
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	吉岡 宏		シート作成者名	岩島 一矢		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(1)水道の運営基盤の強化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	水道法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市民(上水道加入者)									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	老朽管及び基幹管路において、計画的な管路の更新、耐震管への布設替工事を行い、有収率の向上に努めます。									
			今年度	老朽管等の布設替工事を継続して実施します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 測量設計												
	② 工事発注・監理監督												
	③ 漏水調査												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
	老朽化率	老朽管／水道管全延長		%	目標	20	25	25	100				
					実績	28	27						
	有収率	有収水量／配水量		%	目標	72	72	72	90				
					実績	68	70						
	基幹管路耐震適合率	耐震管等／基幹管路		%	目標	35	38	38	100				
実績					35	35							
予算費目	会 計	水道事業会計				款		項		目			
DO			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円								
		県支出金	千円	千円	千円								
		地方債	20,400 千円	62,600 千円	45,200 千円								
		その他特定財源	千円	千円	千円								
		一般財源	11,775 千円	6,040 千円	37,763 千円								
		計(A)	32,175 千円	68,640 千円	82,963 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2,000 人	12,235 千円	2,000 人	12,177 千円	2,000 人	12,085 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)			44,410 千円		80,817 千円		95,048 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	老朽管の延長増加は、管路における漏水の可能性を増大させ、有収率の悪化に直結します。また、漏水による事故発生は、修繕費の増大や給水不安定化の要因となるため、これらの事象の防止は、給水体制強化や経営安定化に向け必要不可欠なものとなります。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	老朽管の布設替により漏水を未然に防止するとともに、工事の際に耐震管への布設替を行うことで、災害時の水道の安定供給体制の強化を図ることが可能となるため、高い有効性を有します。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	設定目標に対し、計画的に事業を推進出来ています。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	老朽化の進行している管路から優先的に布設替を行うことにより、事業の効率性を高めています。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	老朽化の進行している管路の状況、漏水箇所の把握が当面の課題となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	事業計画を着実に推進するため、老朽管路を図面、現場両面から調査するとともに、漏水発生箇所、修繕状況等を勘案し、効率性の高い事業推進に努めます。					対象管路の抽出と優先順位を設定しており、管路の重要度などを勘案し、計画的な布設替えを進めるとともに、漏水箇所の早期発見、早期修繕を行い有収率の向上に努めます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	36	基本事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	公的関与	6	シート作成日	令和4年7月19日		
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	吉岡 宏		シート作成者名	尾崎 啓蔵	
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了		
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 令和 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(7)汚水処理施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(一条西地区・柿原東地区)・農業集落排水施設利用者								
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	農業集落排水使用料の収納率100%を目指します。								
			今年度	使用料滞納者に対して督促、徴収を行い未収納額を減らします。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 余剰汚泥引抜きの削減に努めます。											
	② 使用料の適正な賦課・徴収に努めます。											
	③ 口座振替の普及を促進します。											
	④ 督促状、催告書による通知で納付を促すとともに、各戸に訪問し、収納率の向上に努めます。											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
	農業集落排水施設利用者		農業集落排水施設使用料 収納率(現年度)		%	目標	100	100	100	100		
						実績	98.6	98.8				
	農業集落排水施設利用者		農業集落排水施設使用料 収納率(過年度)		%	目標	100	100	100	100		
						実績	46.1	39.6				
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2 事業費		項	1 施設管理費	
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考			
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円				
		県支出金		千円		千円		千円				
		地方債		千円		千円		千円				
		その他特定財源		千円		千円		千円				
		一般財源		37,166 千円		48,308 千円		61,280 千円				
		計(A)		37,166 千円		48,308 千円		61,280 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.700 人	4,282 千円	0.700 人	4,262 千円	0.700 人	4,230 千円			
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		41,448 千円		52,570 千円		65,510 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	施設の維持管理と汚泥引抜きが同一業者であるため、余分な汚泥取りがいないか確認しています。施設の管理運営費に分担金と使用料を充てているため、使用料の適正な賦課及び徴収は重要であります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	使用料の納入方法について、口座振替を推奨しており、現在8割以上の利用者が口座振替を利用していることから、収納率98%以上が保たれています。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	余剰汚泥引抜きの経費削減に努めています。更に、単価や回数についても検討しコスト削減を考えていきます。現年度については、収納率が目標に近づいていますが、過年度については、高額滞納者が多いため、個別に対策を考えていきます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	供用開始以降、使用料が同じで効果に比べてコストは高くなっており、将来的には料金改定を考えております。また、個別訪問徴収だけでは効率的に徴収できないため、施設の使用制限等の方法を用いるなど収納率向上を考えていきます。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	2	B	3	4	3	1	B			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	施設や設備の老朽化が進行しており、維持管理にコストがかかり、随時更新が必要になります。少額滞納者に対しては、督促状や催告書による通知で納めてもらえますが、高額滞納者に対しては、個別に対策を講じる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	適切な維持管理により機器類等の長寿命化に努めるとともに、大きな故障が発生する前に更新していきます。高額滞納者に対しては、施設の使用制限等を用いるなど対策を考える必要があります。また、集合住宅等の賃貸物件については、管理会社等に共益費として使用料を徴収してもらえよう願っています。					目標の収納率が達成できるよう、口座振替の推奨及び過年度分の収納率向上に向けて取組みます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	36	—	4	基本事務事業名	農業集落排水事業工事	事務事業名	農業集落排水事業工事	公的関与	6	シート作成日	令和4年7月19日	
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	吉岡 宏		シート作成者名	尾崎 啓蔵		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~		令和 年 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(7)汚水処理施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(柿原東地区・一条西地区)									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	適正な施設管理を行うとともに処理水の改善及び地震等への減災機能強化を図ります。									
			今年度	処理施設を再整備し、ポンプ等を更新することにより、機能向上を図ります。 また、施設から排水される汚泥の量を抑えながら、処理水の水質保全を行います。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 処理施設の更新工事を実施し、機能向上を図ります。												
	② 適正な施設管理を行い、汚泥負荷量を安定させます。												
	③ 施設から排出される処理水の水質を安定させます。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
	BOD汚泥負荷		曝気槽の単位MLSS当たり、 1日に処理されるBOD量		kg/m ³ ・日	目標	11	10	10	10			
						実績	11	19					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款		項		目		備考
	直接事業費			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算					
		国庫支出金		5,300 千円		399 千円		11,300 千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		4,700 千円		2,600 千円		8,100 千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		368 千円		千円		1,700 千円					
	計(A)		10,368 千円		2,999 千円		21,100 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.500 人	3,059 千円	0.500 人	3,044 千円	0.500 人	3,021 千円				
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		13,427 千円		6,043 千円		24,121 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	施設の老朽化により、ポンプや機器類等に負担がかかっているため、機器類等の更新が必要であります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	ポンプや機器類等を更新し、機能向上を図ることにより、水質保全を図ります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	BOD汚泥負荷の目標は達成できていませんが、水質は良い状態で安定しており、環境に影響しないレベルを保っています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	処理水の排出を適正に行っています。また、施設を整備し、ポンプや機器類等を更新することにより、水質改善を図り、更に、水環境の向上に努めたいと考えています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	2	B	3	4	3	2	B			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等					
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止						
当面の課題	施設が複雑で維持管理にコストがかかっています。また、機器類等が老朽化しており随時更新が必要になります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	補助金や起債を活用し、老朽化した機器類等の更新を図ります。また、BOD汚泥負荷の目標を達成できるよう努めていきます。					施設等の老朽化が進行しており、適切な維持管理を行うことにより長寿命化に努めます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	36	5	基本事務事業名	飲料水供給施設事業	事務事業名	飲料水供給施設事業	公的関与	3	シート作成日						
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	吉岡 宏		シート作成者名	古谷 昌寛					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2)安心・快適な給水の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		飲料水供給施設の設置及び管理に関する条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内飲料水供給施設(6地区)に属する地区住民と水道未普及地域住民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	安全でおいしい水の安定供給 水道未普及地域の解消(上水道配水区域との地域間格差是正)												
			今年度	市内6施設の維持管理及び必要に応じて修繕を行います。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 施設の点検・維持管理															
	② 施設の修繕及び非常時における給水作業															
	③ 指定管理者との連絡及び調整															
	④ 小規模水道施設等の施設修繕(補助)等															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標						
	施設点検回数		各施設における設備機器の運転状況の点検確認等(R3工事立会を含む)		回	目標	30	50	50	50						
						実績	50	103								
						目標										
						実績										
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	飲料水供給施設費	
			令和	2	年度決算	令和	3	年度決算	令和	4	年度予算	備考				
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円					
		県支出金			千円			千円			千円					
		地方債			千円			137,611 千円			千円					
		その他特定財源			千円			1,664 千円			千円					
		一般財源			33,642 千円			33,794 千円			4,423 千円					
		計(A)			33,642 千円			173,069 千円			4,423 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,059 千円		0.500 人	3,044 千円		0.500 人	3,021 千円						
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円							
全体事業費(A+B)				36,701 千円			176,113 千円			7,444 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
KGMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	安定して供給する水の必要性は極めて高くなっています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	指定管理を行う地元組合では、給水戸数減少や高齢化により施設の維持管理が困難となっています。また、山間地であるため常に危険が伴います。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	継続して事業を推進します。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	費用対効果の考えは適正ではありません。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	集落の過疎高齢化、施設の老朽化等により、今後、管理運営は難しくとなると考えられます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	引続き、安心安全な水の安定供給に努めます。					限界集落ということもあり、加入戸数の減少など施設の維持管理が難しくなっていますが、生活に欠かすことができない事業であることから、地元組合と連携・協議しながら維持管理に努めます。						
	委員会指摘事項												